



4～5月に市内で行われたイベントについてお知らせします

今月の表紙  
弥生祭・宵まつり



4月13日(水)～17日(日)にかけて弥生祭が行われました。16日には宵まつりが、翌日17日には付祭が行われました。

付祭では雨の中、色とりどりに飾られた花家体が東町から7台、西町から4台、計11台繰り出されました。花家体は町内ごとのにぎやかなお囃子を奏でながら、勢いよく二荒山神社の境内へと一気に駆け上がりました。先番当番町の上石鉢町の花家体を先頭に次々と境内へ引き上げられる様子に、観光客からは大きな歓声が上がっていました。

横浜市から友人と訪れた関さんは「今回、初めて弥生祭を見にきました。あいにくの雨でしたが、とてもにぎやかで華やかなお祭りでした」と笑顔で答えてくれました。



5月3日(火・祝)、足尾の春の恒例行事「足尾まつり」が開催されました。この祭りは、足尾銅山の閉山前に行われていた「山神祭」を起源とするものです。晴天に恵まれたこの日は、朝から足尾の4つの地区の山車が繰り出し、町中を練り歩きました。山車の上では、おかめやひよつとに扮した子どもたちが元気を踊りを見せていました。

足尾まつり



5月3日(火・祝)、月山のふもとに設置された特設会場でビール・ピア栗山2016が開催されました。桃色のヤシオツツジが点在する山と青空に囲まれた会場には、県内外から約300人が訪れました。それぞれの鉄板には、栃木産の牛肉や野菜などが並べられ、参加者はバーベキューを存分に堪能しました。

ビール・ピア栗山2016



5月3日(火・祝)～5日(木・祝)に、道の駅「日光」日光街道ニコニコ本陣で、「栃木県焼きそばSHOW」春の陣」が行われました。市内のやさそば店「晃のや」をはじめ、県内から7店舗が出店した他、茨城県常総市など県外からも3店舗が出店し、それぞれ自慢の味を披露しました。3日間です。

栃木県焼きそばSHOW春の陣



6,000人が訪れ、大いに盛り上がりました。栃木県焼きそばSHOW春の陣実行委員会委員長の山本さんは、「栃木県のやさそばの文化を皆さんに知ってもらいたいですね。これだけ県内外の焼きそばが集まるのはなかなかないこと。ぜひ、夏の陣も開催したいです」と次回への意気込みも語ってくれました。

2016日光桜回遊



4月8日(金)～30日(土)、日光の門前町で桜を巡るイベント「日光桜回遊2016」が開催され、連日多くの見物客でにぎわいました。

このイベントは鉢石地区の老舗商店など51店舗で組織する「日光桜遊会」が企画したもので、今年で4回目を迎えました。

8日には郷土センター前でオープニングセレモニーが行われ、約50名の参加者が集まりました。日光の門前町地区や二社一寺周辺地区には、樹齢200年を超える桜の古木が多く、桜めぐりのガイドマップを手にした多くの観光客たちがそれぞれに趣の異なる桜を楽しんでいました。

毎年見事な花を咲かせる高田家のシダレザクラを見に来た東京都あきる野市の齋藤さんは、「60年以上生きていますが、これほど素晴らしい桜は今まで見たことがありません。感動しました」と熱く心境を語ってくれました。



4月10日(日)、鬼怒川温泉駅前広場周辺でさくらまつりが開催され、多くの人が訪れました。ステージでは、龍王太鼓を皮切りに、抽選会の他、ベリィダンスや歌謡ショー、大道芸など多彩なプログラムで盛り上がりました。桜並木通りでは、県内外から「みんなで楽しく踊ろう会」のメンバーが集まり、よさこいパレード



また、4月8日(金)～17日(日)に開催された鬼怒川温泉夜桜まつりでは、会場の護国神社・温泉神社がライトアップされました。ピクニックを基調とした光に包まれた会場は、とても幻想的でした。



4月24日(日)、日光市二社一寺前飲食物産業組合主催の「第3回日光春ポタ! 2016」が開催されました。この日は、朝から曇り空で肌寒さを感じる気温でしたが、県内外から214人の一般エントリーがあり、宇都宮ブリッツェンフェアリー女子競技部などのゲストライダーを加えると、総勢310人の



ライダーが春の日光路をサイクリングで楽しみました。埼玉県久喜市から家族4人で参加した小林さんご一家は、「昨年引続き2回の参加です。昨年は、車では行けないところにも行くことができました。今年は、新しいグルメを探して楽しみたいですね」と、笑顔で話していました。